

| | |
|-------|--|
| 会議名 | 第2回港区相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会 |
| 開催日時 | 令和7年3月3日（月曜日）午前10時30分から午前11時10分まで |
| 開催場所 | オンライン会議 |
| 委員 | 子ども家庭支援部長 中島 博子（委員長） 子ども家庭支援部子ども家庭支援センター所長 石原 輝章（副委員長） みなと保健所健康推進課長 土井 重典（委員） 子ども家庭支援部子ども政策課長 西川 杉菜（委員） 欠席 児童相談所児童相談課長 中島 由美子（委員） |
| 事務局 | 子ども家庭支援センター子ども家庭サービス係 |
| 会議次第 | 1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会 |
| 配付資料 | 資料1 相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 第二次審査採点基準表（案） 資料5 第1回港区相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会会議議事録（案） 参考資料1 相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者募集要項（各様式を含む。） 参考資料2 相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書（案） |
| 会議の内容 | |
| 委員長 | 【1 開会】 ただいまから第2回相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会を開催する。 本日は、西川委員が欠席だが、1次審査の採点表は事前に提出してもらっている。 （事務局より配布資料の確認） 【2 第一次選考結果について】 （事務局より 資料1 について説明） |

| | |
|-----|--|
| 委員長 | それぞれの委員が評価したポイントなどを順番に講評をお願いしたい。 |
| B委員 | <p>様式7～10において、企画提案書はA4両面1枚で提出をすることになっていたかと思う。</p> <p>A事業者は複数の提案においてページの超過があったが、全体的な採点としてはそういったところを加味しながら採点をした。</p> <p>A事業者の提案内容としては、他の自治体でも相談ねっとの業務を実施しており、全体的に相談ねっどシステムが求める機能や内容というところをよく理解をした上で提案されている。全体的に実現性や内容がしっかりとしているという印象である。様式7は、全体的に利用者の目線でしっかりと書かれており、特に、多く利用する子どもが気軽に相談を行える仕組みというところをうまく取り入れをしている点や、メールの登録なしで投稿が可能というところもより利用しやすくなるのではないかなと感じた。実際に事業者の話をし少し聞いてみないとわからないところもあるが、カスタマイズの適用性だとか機能の拡張を図っていくことができるような仕組みだというような提案もあったので、そういったところの将来性についても、評価できるポイントである。様式10のシステムの操作性というところでも、検索機能の一覧性や、相談者に回答をする際に内部決裁をできるというところも、現状のシステムと比べると、より公開にあたっての手続きがスムーズになるのではないかなと思った。過去事例を参照しながら入力ができる点や、統計データの様々な活用なども評価できる。他含めて全体的に標準以上の水準であると思う。</p> <p>一方でB事業者については、他自治体での実績がなかったというところもあるので、A事業者と比較して、このシステムの機能や目的というところをあまり理解されていないところが多いかなと思った。</p> <p>特に、様式7や10を見ると、区民が利用しやすいというよりも、どちらかというとビジネスツールのような印象が多く、業務効率化などに力点を置いているような仕組み、システムだなというふうな印象があり、点を低くした。A事業者の方が枚数の超過はあったが内容はしっかりとしているので、良い評価にしている。</p> |
| C委員 | <p>A事業者の方を高く評価した。理由としては、他自治体で同様のシステムの経験があるというところが大きい。画面の見やすさや操作性のしやすさ視認性のよさが、B事業者に比べるとよいと思った。子どもを含めた区民が使うため、見やすさの違いは結構大きいかと思った。また、職員目線で考えると、様式10にあるとおり、私の課でも内部決裁システムという機能があればいいと思うところもあり、そこら辺に触れられているのがポイントとしてよい。データを抽出したり加工したりするところの柔軟性もあるのかなと</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>思った。</p> <p>一方B事業者が優れていると思ったところは、メール形式ではあるものの、24時間システムの保守対応できるという点である。また、健康カルテなどとの連携、将来的に要望があればできるみたいなところが触れられていた点も評価する。</p> <p>しかしながら、いろいろ区民目線で考えたときに、全体としてはA事業者の方が高いと評価した。</p> |
| E委員 | <p>結果的にB事業者の方が若干上回った結果になった。</p> <p>A事業者は規定のページ数を上回る情報量があったので、アピールポイントがわかりやすくなってしまふのは当然なのかなと思ってその辺でちょっと迷ったところがある。A事業者の企画提案書はページ数を超過しているが書かれているところは中身としてはとてもいいなと思った。様式6については定期的に進捗管理ができるとか、組織で対応するところがしっかり書かれているので、この業務を任せても安定的にやってもらえる、体制的な部分についてもわかりやすいかなと思った。様式7についても、他の委員が言ったとおり、すごくイメージもわかりやすく区民にとってわかりやすい。それから、パッケージであるが柔軟に対応ができる場所、利用者にとって良いものが構築できるのではないかなというところで期待できる。本当はこの2つについては5をつけたいぐらいだったが、ワンランク落とした。</p> <p>B事業者については、もともとあるものを活用しながらやるという提案であったため、それが使う人や、この事業にとってどうなのかなと全体的に不安なところはあったが、逆を言うとそこで安定的に運用できると思って、良いところとして採点した。特にいいと思ったのが情報セキュリティの部分で、体制がしっかり組まれていて、職員が個人情報扱う業務というところで、どのような扱い方で仕事をするのかしっかり書かれているところについては高く評価をした。</p> |
| A委員 | <p>A事業者の枚数超過に関しては、やはり指示通りに行われていないということは、これから業務を任せるときにきちんと区の意向をくんでやっていけるのかなというところで、その辺を加味してオール3という形で評価した。提案書の中身に関しては、図の出し方であるとか、記載の仕方はわかりやすい部分はある。</p> <p>B事業者の方は、ちょっとA事業者との差をつけようというところで、どこがこのB事業者を評価できるかというふうに見た。様式9のサポート体制でや、様式10の部分で健康管理システムとの連携というところを視野に入れている点、どちらかという区民目線というよりか効率化の部分を書いており、キントーンを入れているところが気になり、点差をつけた。</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>B事業者の方が点数的には上回っている。</p> <p>欠席した委員から講評をいただいている。</p> <p>A事業者の方が資料の書きぶりが丁寧で具体的であったが、A4両面まで、というルールが守られていない部分について、評価の公平性が担保できるのか気になった。システム自体は区民が使いやすいのでは、という印象を持った。</p> <p>B事業者については、既存のクラウドシステムを活用する提案であり、現行システムからの移行もスムーズという印象を受けたが、一方で、サポート体制が2系統になっているので、迅速な対応ができるのかが気になった。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>意見を総評すると、A事業者の枚数超過についてはどういう評価をするかというところが、A事業者の提案については、相談者への対応の仕方、データの蓄積や活用の部分というところ、これまでにない機能が示されている、区民目線での見やすさというところが評価されている。</p> <p>B事業者に関しては、同事業の自治体の実績が少ないというところで、業務の効率化に特化している部分があるのではないかという意見があったが、セキュリティの部分では評価されている。</p> <p>枚数超過をどうとらえるかというのが課題と思うが、皆さんから意見をいただきたい。</p> |
| <p>B委員</p> | <p>確かに枚数超過しているが、このシステムに求める内容という面で見ると、A事業者はかなり評価すべき内容だと思っている。もともと補足資料としては10枚まで添付することもでき、今回超過枚数が7枚だった。枚数超過というルールを守っていなかったところを加味し、各委員が少し点数を下げたりするという調整をしていると思う。</p> |
| <p>E委員</p> | <p>私も枚数超過を皆さんがどう考えるかが気になったが、皆さんそれぞれ加味して採点した結果であれば、この結果が妥当なのかもしれないが悩ましいなと思う。他の方の意見も聞きたい。</p> |
| <p>C委員</p> | <p>補足資料は片面10枚までとあるが、A事業者の超過分は10枚を超えていないか。</p> |
| <p>B委員</p> | <p>企画提案書の超過部分は合計で片面7枚である。</p> |
| <p>C委員</p> | <p>私は補足資料の範囲と思っていたので気にしなかった。</p> |

| | |
|-----|--|
| A委員 | 通常考えたときに、提案書そのものがあるからそれにプラス補足資料があるものなので、私も考えた。 |
| C委員 | その考え方は合わせたほうがいい。 |
| A委員 | 私とE委員は、ある程度、超過したところを踏まえての点数をつけている。C委員は補足資料と踏まえて採点をしている。 |
| B委員 | 私もA事業者は加味して減点しているが、それ以上に、B事業者のシステムの内容自体の評価を減点している。結果的にはA事業者の方が高くなっている。 |
| 事務局 | D委員から聞いてるところだと、一応加味して点数をつけても、A事業者の方がいい提案だったということである。 |
| 委員長 | そうすると、皆さんそれぞれに枚数超過を加味して判断をしているということではよろしいか。 (異議なし) |
| 委員長 | 改めて、ここで採点を変更する方はいるか。 (異議なし) |
| 委員長 | 1次審査の結果は、A事業者が690点、B事業者が705点である。 1次審査の通過点は満点のうち60%以上となっており、要件を満たしている。2事業者が1次審査通過となりますが、よろしいか。 (異議なし) |
| 委員長 | 【3 第二次選考について】 (事務局より資料2、資料3、資料4について説明) それぞれの事業者に概要版としてA3の片面1枚にまとめてもらい、プレゼンの中で説明を受けるという事務局の提案だったが、この件に関しては皆さん、いかがか。 (異議なし) |
| 委員長 | 【4 閉会】 (委員長より閉会の挨拶) |